

令和8年度林業アカデミーふくしま短期研修計画及び研修内容

令和8年10月6日時点

講座名		研修の必要性	主な内容	主な対象者	〇の対象者優先			実施時期 (案)	日数 (日)	定員 (人)	開催場所
					市町村 職員	林業事 業体等	県職員				
1	森林・林業の基礎	森林・林業行政の推進を図るため、森林・林業に関する基礎的な知識を幅広く習得した職員の育成を目指す。	森林・林業の基礎知識、優良林業事業体等現地研修、森林・林業施策における市町村の役割 等	市町村林務担当職員等(初任者レベル)	○	△	△	4/22(水) ～23(木)	2	20	林業研究センター(座学) 現地視察(県内の山林)
2	森林整備事業の実務	森林・林業行政の推進を図るため、森林整備の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林整備事業の概要、森林整備発注業務の実務(積算演習等)、航空レーザー計測の林業への活用	市町村林務担当職員等(森林整備事業の実務担当1～2年目程度を想定)	○	×	○ (新任者研修)	5/28(木)	1	20	林業研究センター(座学・演習)
3	森林計画制度	森林・林業行政の推進を図るため、森林計画制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林計画制度の概要、市町村森林整備計画の実行管理に関するポイント(森林経営計画、林地台帳、伐採造林届、森林土地所有者届)、森林境界明確化等	市町村林務担当職員等(森林計画制度の実務担当1～2年目程度を想定)	○	△	○ (新任者研修)	6/24(水) ～25(木)	2	20	林業研究センター(座学・演習)
4	森林土木事業の実務	森林・林業行政の推進を図るため、森林土木事業(治山・林道等業務)に係る知識及び積算業務、監督業務等に必要な知識を習得させ、森林土木事業の実務ができる職員を育成する。	森林土木事業概要、林道施設災害復旧、監督業務におけるポイント、設計積算演習	市町村林務担当職員(森林土木事業の実務担当1～2年目程度を想定)	○	△ ※1日目のみ可	○	5/13(水) ～14(木)	2	20	林業研究センター(座学・演習)
5	森林調査の基礎	適切な森林管理・森林整備を推進するため、現地の情報を正確に把握し、それを根拠に施業判断や収穫量、労務量、経費等の積算を行う職員の基礎能力を養う。	立木の樹高と胸高直径の測定方法、各種データや指標等(幹材積、林分材積、形状比、樹冠疎密度、収量比数等)の概要、標準地調査実習、調査データを活用した簡易的な間伐計画・経費計算等	市町村林務担当(初任者レベル)、林業事業体職員(初任者レベル)、等	○	○	○ (新任者研修)	6/10(水)	1	12	林業研究センター(座学・実習)
6	コンパス測量の基礎	適切な森林整備を推進するため、施業区域の形状や面積を正確に測量し、その測量データを正しく活用できる職員を育成する。	地図と測量の基礎、測量用ポケットコンパスの取扱い、測量手法の解説、測量実習、作図実習、閉合誤差の理解、面積算定方法	市町村林務担当、林業事業体職員(初任者レベル)、等	○	○	○ (新任者研修)	6/9(火)	1	12	林業研究センター(座学・実習)
7	森林経営管理制度	森林・林業行政の推進を図るため、森林経営管理制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林経営管理制度と森林環境譲与税の概要、森林経営管理制度に係る各種事務の概要(意向調査、経営管理権集積計画、所有者探索等)	市町村林務担当職員(森林経営管理制度の実務担当1～2年目程度を想定)	○	△	○ (新任者研修)	7/22(水) ～23(木)	2	30	林業研究センター(座学・演習)
8	路網整備と作業システム	適切な森林整備を推進するため、森林整備事業の発注者となり得る市町村職員や、受注者となり得る林業事業体の担当者・現場従事者を対象に、路網整備及び作業システムに関する知識と技術を習得させ、地域における効率的な施業方法を計画・実行できる技術者の育成を図る。	効率的な作業システムの考え方、森林作業道を活かした作業システムの検討実習、ICT等先端技術の活用、路網を活用した森林作業システムの現地検討、コスト計算演習等	林業事業体職員(実務担当者・現場担当者)、市町村林務担当(実務担当者)等	△	○	○ (普及員研修)	8/27(木) ～28(金)	2	20	林業研究センター(座学・演習) 県内の山林(現地視察)
9	提案型集約化施業(入門編)	森林を適切に集約し、森林所有者に対して的確な施業提案を行うとともに、森林経営計画の策定を主導できる人材を育成するため、提案型集約化施業の意義や森林施業プランナーの役割を理解するとともに、実務に必要な知識の一部を習得し、将来的に提案型集約化施業を実践できる技術者の基礎を築く。	提案型集約化施業の基礎、森林施業プランナーの業務内容、森林施業プラン作成演習 等	林業事業体職員(集約化施業の初任者:森林施業プランナーを目指す者)等	△	○	△	令和9年 1/19(火) 、2/2(火)	2	12	林業研究センター(座学・演習)
10	提案型集約化施業(発展編)	本県の森林が本格的な利用期を迎えるなか、皆伐・再造林を考慮した新たなプランニング能力を備えた人材を育成するため、提案型集約化施業に取り組む者を対象に、現地見学や講師による解説、意見交換等を通して多様な考え方に触れ、柔軟なプランニング力を養うきっかけづくりを目指す	集約化施業における皆伐再造林の進め方と考え方、林業先進地の事例、集約化施業による皆伐再造林地の県内の事例(現地)、作業システムの考え方、意見交換等	林業事業体職員等(集約化施業の実務者:現役森林施業プランナー等)	△	○	△	9/10(木) ～11(金)	2	12	林業研究センター(座学) 現地視察(県内の山林)

令和8年度林業アカデミーふくしま短期研修計画及び研修内容

令和8年10月6日時点

講座名		研修の必要性	主な内容	主な対象者	〇の対象者優先			実施時期 (案)	日数 (日)	定員 (人)	開催場所
					市町村 職員	林業事 業体等	県職員				
11	安全な伐木等作業技術 (座学)	林業における死亡災害は、伐木作業時が最も高い割合を占める。ついては、伐木等作業時の労働災害を防止するため、必要な知識・技術を有し、安全に適切な作業を実施できる林業従事者を育成する。	新たに創設された林業技能検定制度の概要と、林業技術者が身に付けておくべき知識の学習の範囲の紹介、伐木作業時に気を付けておくべきポイント等の紹介・解説	林業事業体及び関係団体等の現場管理者、現場作業員等	△	○	○ (普及員研修)	7/27(月)	1	30	林業研究センター
12	安全な伐木等作業技術 (実技)	林業における死亡災害は、伐木作業時が最も高い割合を占める。ついては、伐木等作業時の労働災害を防止するため、必要な知識・技術を有し、安全に適切な作業を実施できる林業従事者を育成する。	安全かつ正確な伐木等作業技術を習得するための反復練習	林業事業体の現場作業員等	△	○	△	7/28(火) ～29(水)	2	10	林業研究センター
13	最先端の林業技術	森林施業の効率化・省力化を可能にするため、ICT等の最新の林業技術を習得させる。	(※年度により重点とする技術は変動) 大型ドローンによる苗木運搬、3Dレーザースキャナを活用した森林調査、路網設計支援ソフトを使用した線形計画 GNSS測量	市町村林務担当職員及び林業従事者 等	○	○	○ (普及員研修)	12/15(火) ～16(水)	2	15	林業研究センター(座学・演習)
14	ドローン写真測量	森林の管理、整備、調査等の体制強化及び省力化を推進するため、ドローン写真測量の仕組みと流れ(自動飛行・撮影および解析によりオルソ画像を作成)を理解できる人材を育成する。これにより、今後、林業の各分野においてドローン写真測量を効果的に活用できる人材の拡充を図る。	ドローン写真測量の定義と流れ、自動飛行計画及び撮影、オルソ画像及び三次元点群の作成、オルソ画像の活用例	市町村林務担当職員及び林業従事者、県造林担当者 等	○	○	○ (普及員研修)	10/1(木) ～2(金)	2	12	林業研究センター(座学・演習)
15	GIS入門	森林・林業のあらゆる業務において地理空間情報の活用は必須となりつつある。本講座ではGIS(地理情報システム)や位置情報の活用に関する有用性や可能性へのイメージを養い、各種業務で効果的に活かすための土台を形成する。	GISを活用する各種業務の例とイメージ(各種データの重ね合わせ、コンパス測量成果の取り込み、スマートフォンへの取り込み 等) ※座学、デモンストレーション、一部体験演習	市町村林務担当職員及び林業事業体職員等 (GISがよく分からない、どう活用できるのかイメージがわからない方)	○	○	○ (新任者研修)	10/16(金)	1	10	林業研究センター(座学・演習)
16	GIS操作	森林・林業のあらゆる業務において地理空間情報の活用は必須となりつつある。本講座では、GISの基本的な知識と技術を、国内および世界的に広く使用されているオープンソースのGISソフトウェア「QGIS」を教材にした実習を通じて習得することを目指す。研修を通じて、各種業務でGISをより高度に活用していくための基礎的なスキルと応用力の土台を形成する。	GISの概要、QGISの基本操作、県が交付する「QGIS版森林GIS」の紹介、レイヤ追加、シンボル・ラベル設定、森林簿CSV結合、結合データの活用(抽出等) 等	市町村林務担当職員、林業事業体職員 等 (基礎的な操作方法を習得したい方)	○	○	△	11/9(月)	1	20	林業研究センター(座学・演習)
17	森林経営計画の作成	森林経営計画の作成に必要な基礎知識を、演習を交えて体系的に習得するとともに、市町村林務担当者は計画の認定者として、林業事業体職員は計画の作成者として、それぞれの立場から必要な理解と実務的能力の向上を図ることを目的とする。	森林経営計画作成に必要な基礎知識、森林経営計画作成演習(エクセル形式の様式及び森林簿を活用) 等	市町村林務担当職員(経営計画審査担当)及び林業事業体職員(経営計画作成担当) 等	○	○	○ (普及員研修)	11/19(木)	1	20	林業研究センター(座学、演習)
計									27	295	